

# ②入間小のけやきのこと 事業におけるケヤキの扱いと 私たちの活動経過



2023年1月14日

福住



# 入間小学校跡地利活用事業



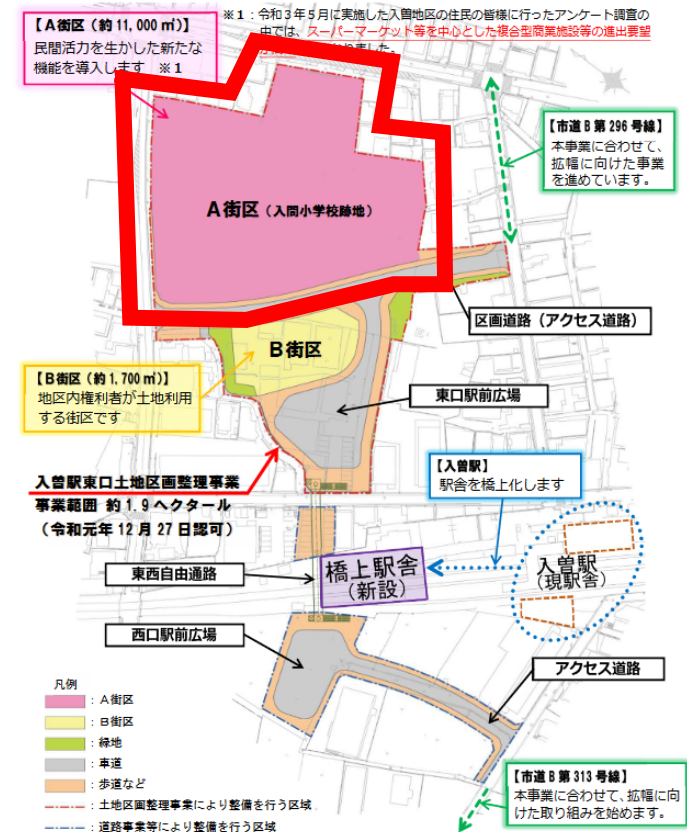
## 入間小と入曽駅再開発との関係

### 閉校時の構想

- 駅前広場、道路及び公園などを整備するためには、入間小の土地の活用が不可欠（入曽地域小中学校統廃合に関する計画）
- 入曽公民館（旧入間公民館）更新事業用地として検討
- ケヤキが立つスペースに百年記念碑移設と廃校記念碑新設

### 公民館変更と入曽駅周辺整備事業

- 更新事業用地を入間小跡地から入間中跡地へと変更（H27年12月）
- 入間小跡地に民間活力を生かして新たな機能を導入し、活性化
- 入曽周辺整備事業の中の一つに位置付け



狹山市の資料に加筆



## 公募の流れ

- 複合型商業施設に関する調査
  - R3年5月 住民アンケート調査を実施（回答数353人、回答率50%）
  - スーパー、映画館、本屋、カフェ
  - 地域とのイベントや憩いの空間の整備、地元事業者の直売
- 選定方法
  - 公募型プロポーザル方式（事業者からの自由な提案で競う）
  - **入間小学校跡地利活用事業者選定委員会**（副市長、有識者4名、市民代表5名、市職員3名）
  - R3年6月 募集要項公表
  - R3年10月 決定・公表
  - R5年春開業予定（その後、周辺道路整備の遅れでR7年春に延期）



入間小のけやきとは



## 入間小にとってのけやき

### 生い立ち

- 1920年（T9年）に校舎増築の記念樹
- 児童4人が近くの山林から探して担いできた高さ3mのけやき

### 入間小での扱い

- 昔から学校の中心だった山桜は戦後に無くなり、けやきがシンボル
- 綱引きの練習、万国旗の飾りつけ
- 卒業アルバムなどで必ず登場、通信簿のタイトル「けやき」
- 2012年（H12年）閉校時のスローガン「さようなら入間小、ありがとうけやきの木」



S16年頃『写真が語るふるさと 大正・昭和・入曾の風景』（野口日出男、広沢謙一）より



写真：石川晃さん提供



## 地域にとってのけやき

### 身近な風景として

- 地元住民の散歩や買い物の風景
- 川越・入間・所沢市民は県道の車通勤時や入曽駅の通学時の風景



### 狭山市景観地50

- 市政施行50周年を記念して策定
- 市民から3千件を超える応募
- 「市内の素晴らしい風景を**まちの財産**」入間地区（当時）からは水野のそば畑・茶畑・入間小学校のけやき・金剛院・入間野神社・七曲の井の6か所

➡ 入間小や入曽の限られた人の思い出ではなく、市全体の財産である表れ

➡ 後継木では代替できない役割

➡ 入間小のけやきが欠落すると、**景観地49**に？





閉校から公募までの動き





## 閉校時の合意

### 入曽地区学校統廃合計画推進委員会

#### 【合意事項】

公共用地としての整備が計画されている櫟の木が立つスペースに、開校百年記念碑を移設するとともに、新たに廃校記念碑を設置する（櫟の木は残す予定）。

（第1回（H22年7月）議事録より）

- **ケヤキを残すことを大前提に、**  
傍に建てる記念碑のデザインに議論が割かれた

➡ ケヤキを残すことは委員の間では**当然の合意事項**



## 事業者事前ヒアリング（R2年4月～5月）

Q7 ケヤ木についてご意見をお聞かせください。

**事業者A** 金庫が別棟となると、けや木がネックになる。再度プランニングするがないほうが事業主としては好感触。けや木の後継木やベンチなどへの加工等は協議が必要だが可能性あり。

**事業者B** 現状だとケヤキ部分は駐車場になる可能性が高いため、ないほうがプランニングしやすい。ただ残してプランニングも可。移植・後継木・その他方法についても検討するとのこと。

**事業者C** （空欄）

**事業者E** 伐採希望

**事業者F** 伐採希望

**事業者D** ケヤキを残し、自社での管理も十分できる。残す方向にも前向きだった。

**事業者G** 現位置で店舗計画（ケヤ木ありでプラン可能。ただし、条件として設定してくれた方が提案しやすい。）

（開示請求公文書『入間小学校跡地利活用民間事業者募集公募型プロポーザル事業にあたっての事前ヒアリング』より）




**7社中3社が残せる**と明確に回答（うち1社はイオン）



## 伐根の決定

### ヒアリング後の議会での答弁

 **都市計画課長（当時）** 小学校跡地の複合型商業施設が立地する A 街区に現在もあるケヤキにつきましては、商業施設の募集の際に現在の位置にケヤキを残すことを条件とすることは難しく... (R3年3月2日建設環境委)

### 公募要項の決定（R3年5月31日）

(11) 宅地内の立木について  
宅地内の立木（ケヤキの木）については、優先交渉権者の責任と負担において伐根、処分をしていただきます。  
その際、隣接地に影響がないように伐根してください。

 市自ら伐根せず**事業者**に責任を負わせた

### 住民配慮

- 代わりに後継木育成事業とケヤキの加工品制作



## 事業者からの質問

### 公募期間中の質問と回答（R3年6月～9月）

質問者1 立木（ケヤキ）に関し募集要項には伐根の指定がありますが、6/23HP公開（よくある質問）では「移植は費用・根付きの面から不可、伐根は止むを得ない」と記載があります。

移植でなく、現位置での活用提案は受け付けられないという事ですか。

質問者2 30年の賃貸借契約期間満了後、その時に適合した提案により伐根または加工品の作成などの地元住民に貢献できる提案、対応をするということもありえますか。

質問者3 募集要項では、伐採、伐根、要求水準では伐根後の木材を使った加工品の作成により 地元住民に貢献できる提案とありますが、立木を残すことでは駄目でしょうか。管理は当方で実施致します。

市の回答 このケヤキについて専門家に意見を伺ったところ、移植しても根付く保証はできず、さらに、多額の費用が必要となるという意見を踏まえ、残して活用するのではなく後継ぼくや加工品として残すこととしました。以上を踏まえてご提案ください。

（R3年8月 入間小学校跡地利活用事業募集要項等への質問に対する回答より）



市は適切な回答をせず、**移植に話を逸らす**



## 選定結果





ケヤキ存続の願い

# ケヤキ存続の願い



## 市議会での質問

### 疑問を唱える一般質問

**町田昌弘 議員（当時）** 現在検討している基本計画の中では、ケヤキを現状のままとすることが難しく、記念碑を含めて検討する予定であることがわかりましたが、このことは、閉校当時の関係者への約束をほごにするものだとの認識のもと、慎重な検討をしていただくようお願いいたします。  
(H29年9月19日一般質問)

**田中寿夫 議員** 当時の入曽地区自治会連合会定例会で、複合型商業施設を誘致する上で現在の位置にケヤキを残すことは難しく、（中略）伐採はやむを得ないことについて説明させていただいたところ、特に意見はありませんでしたとのことですが、自治会連合会の代表者は住民の一人にすぎません。多くの市民が残置を望んでいるのを承知の上で、自治会連合会から特に意見がなかったので伐採するとは、随分乱暴な話ではありませんか。しかも、多くの市民に対しては何の広報もない。  
(R3年6月15日一般質問)

**衣川千代子 議員** 子どもたちやその保護者、先生方をずっと見守ってきたことを知れば知るほど、現在のケヤキを見ていると、専門家の診断で、ケヤキが弱っていて、この先枯れてしまうおそれがあるということが信じ難い思いです。  
(R3年12月8日一般質問)



## 市民の声と市民グループの立ち上がり

### 市民の声

- 入曽駅周辺整備事業のパブリックコメントで4件の意見
- 市の担当課やイオンへも要望や意見

### 入間小のケヤキを未来につなぐ会の署名活動

- R4年5月末に立ち上げ
- 市長宛てに要請書提出
- 公文書開示請求などで市の杜撰な伐根判断を明らかに
- イオン各店舗の調査を行い、商業施設との共存可能と判断
- 署名17,000筆超が集まる

未来へつなごう！入曽の歴史  
まちのシンボル 旧入間小のケヤキと  
イオンの共存を求めて

発信者：入間小のケヤキを未来につなぐ会  
宛先：小谷野剛 狹山市長・狹山市都市建設部市街地整備課

賛同者 **17,301** 人

2022年11月27日23時現在  
(紙の署名を含む)  
キャンペーン開始：2022年6月4日

change.org





要望を受けた新しい流れ



## イオンからの話合いの申し出

### 象徴的な樹木の保存

 **加地明彦** イオンリテール（株）開発本部長（当時）（R4年8月1日話合い）

- イオンは通常、敷地の**象徴的な木を残しての施設計画**を立てる
- **無理でも移植**を検討する
- 民民の開発など**イオンの意志が尊重**されればいいが、今回は公募条件がありそれに従う立場

### 応募の経緯

 **加地明彦** イオンリテール（株）開発本部長（当時）（R4年8月1日話合い）

- 応募前（事前ヒアリングなどで）**複数回、「ケヤキを残す方向での提案はどうか」と質問**
- 市が**事前ヒアリング**を行ったこと、**地域代表に人的配慮**（説明）したことを市から伝えられ、イオンとしては伐根条件を受け入れた
- 企業理念との整合性については「個人的にというか、会社としても**非常に辛い**」と吐露（後にイオンは個人の意見が含まれるとの見解示す）



## 樹木医診断の実施

- 市の主張①「移植しても根付く保証はなく」
  - 樹木医Aは**診断しておらず**、診断書等、判断の**文書は不存在**
  - 樹木医Aは職員（当時）の知り合いで、契約ではなく**私的に意見**を求めた

➡ **重要な政策判断（移植不可）の過程が杜撰**

- 市の主張②「この先枯れる恐れも」
  - 樹木医Bは後継木の育成業務以外は**契約外と困惑**
  - 衰退といっても**幅がある**。あれだけ**大きな木は普通**、葉が**小ぶりになる**

➡ **市は樹木医Bの契約外の発言を都合よく利用**

● R4年9月議会

**田中徳蔵 都市建設部長** なおこのケヤキを伐採伐根することについて様々なご意見を頂いていることから、改めて樹木医に業務委託として、ケヤキの状態を診断していただき、意見を求めています。



## イオンが新しい提案

### 経緯

- R4年11月2日の包括連携協定締結の際に、**ケヤキと共存した形で店舗建設**に取り組むとイオン側から申し出
- 当初の**機能（ブックカフェやキッズパーク）維持**、枝の落下など安全面の対策が**事業者の責任**で確保などを条件に市が手続きを開始

### あらたな提案内容（R4年12月建設環境委員会より）

- ケヤキの周りは舗装せず土を残し、**広いデッキで囲む**
- **キッズパークは面積増加、屋根を設ける**
- 店舗面積は約180m<sup>2</sup>減少、足りなくなる駐車場は周辺で確保
- R7年春の開業予定に影響はない

 選定委員会はR4年12月19日に再審査、**今年1月末に最終判断**

 **ケヤキ存続まであと一歩です！**



參考資料



# 入間小のケヤキを未来につなぐ会 概要

## 活動開始

2022年5月29日

## 目的

入間小のケヤキと複合商業施設（イオンそよら入曽）との共存

## 活動内容

関係者への要望・調査、市民への広報・署名運動

## メンバー

入曽地区住民など8人（30代～90代）

## 連携

入曽まちづくりの会（代表 田中壽雄）



## 賛同者内訳

### 内訳

	第2次提出	合計（第1次+第2次）
オンライン署名	346名	15,924名
用紙署名	354名	858名
合計	700名	<b>16,782名</b>







### 市外が多い理由

- ケヤキに馴染みがある人は必ずしも**市内に留ま**ってはいない
- **市外の人**も昔からケヤキを知っている
- Change.orgの仕組みで、**市内でも東京**などの地名が記録される場合
- Change.orgの仕組みで**名前とEメールアドレス**だけの賛同も可能
- **全国展開するイオン**に当事者意識を持ってもらう意図も

➡ 9月委員会での報告や一般質問答弁：**市の認識の甘さ露呈**



## 賛同者の声

-  **小学校の思い出**  
自身・家族が卒業生/学校生活や遊んだ記憶/運動会や綱引き/ケヤキを見て、勇気をもらう
-  **日常の風景**  
散歩の目的/県道を車内から/建物から顔を出す風景がいい/形が立派・愛嬌がある
-  **樹木や自然への畏怖**  
102年も生きた木だもの/立派になるのにどれだけ時間がかかったことか/夏は葉が茂り冬は葉を落とし寂しく生き生きしている
-  **環境との調和**  
木陰やヒートアイランド対策/雨水の保持/町中に緑が欲しい/今時気を残すことは当たり前
-  **開発への疑問**  
本当は公園が良かった/近所にスーパーが2軒あるのに複合商業施設は不要/自然を犠牲にして人間は豊かになるのか/SDGsに反する
-  **杜撰な市政運営に怒り**  
残せるのに何故伐根か/なぜイオンに伐根を迫るのか/ほかの街路樹や公園の木も強剪定していて樹木への理解を感じない/市のスローガンや基本計画に逆行/説明しない市長





## 専門家意見の使い方（1）

### 移植の見通し

**都市計画課長（当時）** また、ケヤキを移植するにしても **費用は5,000万円**程度必要となることから、伐採はやむを得ない... (R3年3月2日建設環境委)

また、**専門家に意見を伺ったところ、移植しても根付く保証はできず**、さらに、多額の費用が必要となる... (募集要項等への質問に対する回答、その他広報で頻出)

**田中徳蔵 都市建設部長** また、移植したとしても多額の費用が見込まれ、さらには、老木であるケヤキが根づくことも難しいことから... (R3年12月8日一般質問)

### 当会が市街地整備課に問い合わせ（R4年5月～7月）

- 専門家とは**樹木医**（不開示、樹木医Aとする）
- 樹木医Aは**診断しておらず**、診断書等、判断の**文書は不存在**
- 樹木医Aは職員（当時）の知り合いで、契約ではなく**私的に意見**を求めた

➡ **重要な政策判断（移植不可）の過程が杜撰**



## 専門家意見の使い方（2）

### 「この先枯れる恐れも」発言

**田中徳蔵 都市建設部長** ケヤキの取扱いについては、専門家の診断では、ケヤキ自体の木力が弱っており、この先枯れてしまうおそれも懸念されることから...

**衣川千代子 議員** 現在のケヤキを見ていると、専門家の診断で、ケヤキが弱っていて、この先枯れてしまうおそれがあるということが信じ難い思いです。

（R3年12月8日一般質問）

➡ 前提条件なく、**自然に枯れるとミスリード**。議員は**追及できず**。

➡ 当会が市街地整備課に問い合わせ（R4年5月～7月）  
葉っぱが小さかったり枯れ枝が落ちるなど通常のケヤキよりも**多少衰退している**と樹木医（不開示、樹木医Bとする）から意見をもらっている（**診断ではない**）

➡ 当会が衰退意見したと思われる樹木医に接触（R4年8月）

- 後継木の育成業務以外は**契約外と困惑**
- 衰退といっても**幅がある**。あれだけ**大きな木は普通**、葉が**小ぶり**になる

➡ 市は樹木医Bの**契約外の発言を都合よく利用**



## 環境と地域への取り組み

- 象徴的な樹木の保存（具体例は末尾の参考資料を参照）
  - **加地明彦 イオンリテール（株）開発本部長（当時）**（R4年8月1日話合い）
    - イオンは通常、敷地の**象徴的な木を残しての施設計画**を立てる
    - **無理でも移植**を検討する
    - 民衆の開発など**イオンの意志が尊重されればいいが**、今回は公募条件がありそれに従う立場
- 出店時の植樹活動（イオンふるさとの森づくり）
  - 店舗が**地域に根ざし、地域のコミュニティの場**となること、さらには緑を育む心が世界に広がるように、新規出店時に住民とともに敷地に植樹を行っている（WEBサイトより）
    - ➡ イオンは地域とのつながりを重視
  - その**土地本来の樹木**を数十種類取り混ぜて植樹（WEBサイトより）
    - ➡ 管理しやすさを優先しているわけではない



## 入曽では？

### 応募の経緯

 加地明彦 イオンリテール（株）開発本部長（当時）（R4年8月1日話し合い）

- 応募前（事前ヒアリングなどで）複数回、「ケヤキを残す方向での提案はどうか」と質問
- 市が事前ヒアリングを行ったこと、地域代表に人的配慮（説明）したことを市から伝えられ、イオンとしては伐根条件を受け入れた
- 企業理念との整合性については「個人的にというか、会社としても非常に辛い」と吐露（後にイオンは個人の意見が含まれるとの見解示す）

### 施設計画変更の可能性

 加地明彦 イオンリテール（株）開発本部長（当時）（R4年8月1日話し合い）

- ケヤキを残しての施設計画はもちろん物理的に可能
- 憩いのスペースが制限を受ける可能性はある



## 樹木医への業務委託

### ● これまでの状況

- 移植困難との私的な意見（樹木医A）：これがケヤキ伐根を決めた根拠
- 後継木の育成事業のついでに聞いた多少衰退という意見（樹木医B）
- 文書は不存在

➔ 当会は**政策決定プロセスの杜撰さ**を指摘してきた

### ● 新たな樹木医に業務委託

- 起案8月17日
- 3者から見積もり事業者「街の木らぼ」（樹木医Cとする）と契約（8月26日～10月31日まで）
- 業務内容：樹木調査、移植方法の検討と情報提供、診断カルテ作成および説明資料作成
- ケヤキを残置する場合の店舗設計への影響についても成果物（市民説明資料）に盛り込む予定（市街地整備課に問い合わせ）



## 商業施設計画の概要（２）

### スケジュール

H30年1月～2月	入曽地区自治会事業説明会
H30年4月	入曽駅周辺整備事業決定
R2年4月～5月	事前ヒアリング（企業ヒアリング）
R3年5月	住民アンケート調査
R3年5月31日	入間小学校跡地利活用選定委員会（第1回）
R3年6月28日	公募型プロポーザル 募集要項公表
R3年7月20日～7月26日	公募型プロポーザル 質問期間（回答は8月6日）
R3年9月13日～9月15日	公募型プロポーザル 応募期間
R3年10月1日・4日	入間小学校跡地利活用選定委員会（第2回 審査・決定）
R3年10月下旬	優先交渉権者（イオンリテール（株））公表
R3年11月30日	基本協定書締結
R3年12月28日	定期借地権設定契約合意書締結
-----（現在）-----	
R4年12月	建築確認申請（8月時点の市の情報、イオンは無回答）
未定	定期借地契約、敷地引き渡し（R4年6月から延期）
未定	住民説明会（大店立地法に基づく）
R6年12月～R7年4月	開業（調整中、R5年春から延期）



## 商業施設計画の概要（3）

### 事業者選定

- 公募型プロポーザル
- 11事業者が応募
- イオンリテール株式会社が167点/200点満点、月額賃料7,800,000 円で優先交渉権者

### そよら入曾（イオン）

- イオンの新業態の小商圈型店舗
- 関東初出店（他に大阪1店舗、名古屋1店舗）
- 2階建て+屋上駐車場（延床9,330m<sup>2</sup>）
- デイリーライフ核（イオンのスーパーなど）
- ニューライフスタイル核（ブックカフェ、キッズパークなど）
- 地元企業の活用、地元商店街との連携、地元雇用





## 建物位置とケヤキの支障（2）

### 立体図







## 他店の事例（1）

### イオンモール東久留米（東京都東久留米市南沢）

- 元は第一勧銀グラウンド
- 敷地内に高さ13mのアカマツの保存木（東久留米の名木百選）
- 維持管理は市がイオンに委託しているが、地域住民に喜んでもらえるよう、費用はイオンがほぼ全額負担（モール担当者の話）
- 日常的に落ち葉回収の他、年10回程度造園業者を呼んで枝落としの検討や害虫のチェック





## 他店の事例（2）

### イオンモール多摩平の森（東京都日野市多摩平）

- 元はUR多摩平団地
- 団地の敷地にあった樹木のうち約50本をそのまま残し、多摩平の景観を守り続ける（WEBサイトより）
- 一角にあるケヤキは、建物と一体的な空間を演出し来店者の憩いの場





## 他店の事例（3）

### イオンモール日の出（東京都西多摩郡日の出町平井字三吉野桜木）

- ソメイヨシノの大樹木
- ソメイヨシノを保存できるように建物の配置計画を行った（説明板より）
- 多くの樹木があったが、敷地内の緑地帯や桜公園に移植（説明板より）
- 畑土は植栽地のマウンドの表土として再覆土（説明板より）





## 狭山市緑の基本計画

### 保存すべき樹木等の指定

- 「狭山市緑化推進及び緑地保全に関する条例」で具体化
- **樹木、樹林、生垣、その他**について**基準**

(保存すべき樹木等の指定)

第9条 市長は、良好な自然環境を保全するため特に必要があると認めるときは、次の各号に定める基準による保存すべき樹木、樹林又は生け垣を、その所有者と協議のうえ指定することができる。

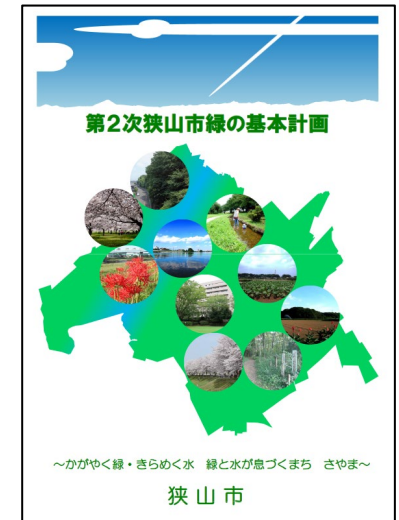
- (1) 樹木については、高さが12メートル以上で、1.5メートルの高さにおける幹の周囲が1.2メートル以上であるもの  
(以下省略)

➡ 入間小のケヤキは高さ23m/幹周り3.7mで**基準満たす**

### 高木保存が緑化になる理由は？

地域におけるランドマークとしての**景観要素**もあり、これらを保存していくことで、**緑化推進や緑地保全を啓発**し、良好な自然環境の保全に資する

(みどり公園課に問い合わせ)





## 狭山市景観地50

### 概要

- 市政施行50周年を記念して策定
- 市民から3千件を超える応募
- 「市内の素晴らしい風景をまちの財産」と謳っている
- 入間地区（当時）からは「水野のそば畑」「茶畑」「入間小学校のけやき」「金剛院」「入間野神社」「七曲の井」の6か所

- ➡ 入間小や入曾の限られた人の思い出ではなく、市全体の財産である表れ
- ➡ 後継木では代替できない役割
- ➡ 入間小のケヤキが欠落すると、**景観地49**に？

歴史を感じさせる。

**B 入間地区**

■ 水野のそば畑

森が明け突然現れるそば畑。花が咲く季節は、花の白と周りの緑とのコントラストがとても美しい。

■ 入間小学校のけやき

校庭にそびえる樹齢120年余りのけやきは雄大で見事。入間小学校のシンボルとなっている。

■ 入間野神社

毎年10月に、埼玉県西部地方を代表する舞士芸能「入曾の獅子舞」が奉納されている。

西武新宿線の入曽駅周辺では、広大なお茶畑が開かれる。農家が茶を生産・販売することが特徴である。

■ 金剛院

天文2年(1533年)に中興開山されたといわれ、明治初期までは茶産産現(現在の入間野神社)の別当寺であった。

■ 七曲井

県指定文化財であり、関係者の協力によって当時の姿を今に残している。井戸へ降りる道が曲がり道になっていることが名の由来。

Sayama City

狭山市の景観地50  
50 Scenic Grounds of Sayama City

平成16年11月



## 市長のコラム

### 『One for All 市長が走る！』（R4年5月コラム）

入間小学校の校庭には大きなケヤキが立ち、学校に通う多くの子どもたちの成長を見守ってきました。私も小学3年生まで入間小に通い、ケヤキの周りで友人たちと遊んだことを覚えています。（中略）

入間小跡地に**今も残るケヤキを何とか残したいと思ったのは地域の皆さんや私だけではないでしょう。**（以下略）



伐根の条件付けは**市の問題**  
**トップの判断**で修正可能なはず

### One for All 市長が走る！（2022年5月10日掲載）

ツイート

シェア

LINEで送る



狭山市長 小谷野 剛

#### 地域を見守るケヤキの木

入間小学校の校庭には大きなケヤキが立ち、学校に通う子どもたちの成長を見守ってきました。私も小学3年生まで入間小に通い、ケヤキの周りで友人たちと遊んだことを覚えています。

現在、入曽駅周辺整備事業により、建物の解体や道路の拡幅、商業施設なども建設され、次第に入曽駅周辺にかつての姿に戻っています。同時に、入間小跡地に今も残るケヤキを何とか残したいのは地域の皆さんや私だけではないでしょう。

しかし、専門家からは、このケヤキを移植しても再び根付

# 樹木診断カルテ



## 樹木診断カルテ (1)

樹木診断カルテ															
調査日		2022年8月29日		天候		くもり		調査者		[REDACTED]					
樹種名		ケヤキ		学名		Zelkova serrata		樹木番号		—					
形状		樹高	25.0	m	幹周	3.85	m	根元周	5.11	m	枝下高	7.5	m	H/D	15
葉張り		東	10.5	m	西	10.0	m	南	11.0	m	北	9.0	m		
活力度		樹形	a (良い)	b (普通)	c (少し悪い)	d (悪い)	e (枯死)								
樹勢		a (良い)	b (普通)	c (少し悪い)	d (悪い)	e (枯死)									
部位・診断内容	1 大枝	① 樹皮の枯死・欠損、腐朽	無	有	剪定痕腐朽										
		② 開口空洞	無	有											
		③ 亀裂・入皮	無	有											
		④ 枯枝・ぶら下がり枝	無	有											
		⑤ 枝葉の偏り	無	有											
		⑥ ライオンテールの枝	無	有											
	2 幹	① 樹皮の枯死・欠損、腐朽	無	有											
		② 開口空洞	無	有											
		③ 打診音異常	無	有											
		④ 亀裂・入皮	無	有											
	3 根元	① 樹皮の枯死・欠損、腐朽	無	有	ベッコウタケ(南東側根元)										
		② 開口空洞	無	有											
		③ 鋼棒貫入異常	無	有											
		④ ルートカラー	有	無											
	4 根	① 露出根の切断・腐朽欠損	無	有											
		② 巻き根	無	有											
		③ 縁石等への巻き込み	無	有											
		④ 踏圧害	無	有	校庭だった場所なので、過去の踏圧と、現在は工事による締固め										

# 樹木診断カルテ



## 樹木診断カルテ (2)

5 共通	① 被圧	無	有	
	② 病虫害	無	有	
	③ キノコ	無	有	ベッコウタケ(根株腐朽菌)
	④ コブ・異常なふくらみ	無	有	
	⑤ 不自然な傾斜	無	有	
	⑥ 影響のある周辺状況	無	有	
	⑦ その他・特記事項	無	有	土はレキが多く、締固められている。イシクラゲが多く、水はけが悪くアルカリ性だと示す。

総合判定	C
------	---

(A:健全、B:健全に近い、C:不健全に近い、D:ほぼ不健全、E:不健全)

危険度判定	内容		判定	部位
	枝折れ	小枝	3	全体的
		大枝	1	
倒木		1	南東側根元、根	

対策	枯枝の剪定	早期	中期
	土壌改良	要	不要
	機械測定	要	不要
	その他		

(0:安全、1:可能性がある、2:可能性が高い、3:明らかに危険)

### [外観診断 所見]

木材を取るために早期に下枝を切られた樹形だと思われる。土(表層)はとても堅密で、石が多く、水はけが悪い。大枝にコケがあるのは新陳代謝が遅いことを現し、樹齢もあるが土壌環境も影響していると考えられる。根元に根株腐朽菌のベッコウタケと思われる子実体があり、根元の形にも根株腐朽の兆候が見られる。風圧を強く受ける傘型樹木なので、根返りの可能性はある。今のところH/D(樹高/根元直径)は15で傘型樹形としては最適値。(数値は低いほど安定だが、根株腐朽が進むと倒伏の可能性が出てくる。)

### [今後の維持管理の提案]

2Fのウッドデッキと店舗をなくし、ケヤキ枝張り範囲(ケヤキエリア)は立ち入らないようにして、駐車場を完全に2つに分けるなら現地保存が可能かもしれない。樹体を支えるための根のダメージを防ぐために少なくとも半径6m~8mは舗装をしないで、柵等で踏圧防止をしたい(資料①参照)。幹半径0.6mだと根鉢半径約5m以内に強い荷重を受ける(資料②参照)。そして根の保全範囲で土壌改良を行いたい。現地保存は、腐朽が進み倒伏の不安が増すこともあるが、よっぽど木の将来的成長や管理を考慮しないと、工事後比較的短期で強剪定→伐採となるケースが多いように思われる。ケヤキは落葉と小枝の落枝がかなり多いので、それらが許される場所を用意したい。